

新年にあたって



香川県商工会連合会

会長 篠原 公七

新年明けましておめでとうございます。令和六年の新春を迎え、謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。

さて、我が国経済は、三年以上の長きにわたるコロナ禍を脱し、大企業や都市部の中堅・中小企業を中心に緩やかな回復基調にあると言われております。

しかしながら、地域経済や雇用を支える地方の中小企業・小規模事業者は、その実感が得られておらず、人口減少や少子高齢化などの進行に伴う需要の減少や人手不足・後継者不足などに加えて、エネルギーや原材料価格の高騰、賃上げへの対応などが収益を圧迫し、依然として厳しい経営環境にあります。

このような中、私たち商工会は、地域唯一の身近な総合経済団体として、地域の中小企業・小規模事業者に対して、従来からの記帳や税務、金融等の基礎的な支援に加え、事業の再構築や自己変革に挑戦する場合には、国や県の各種施策の活用を支援するとともに、事業の確実な実施に向けて経営指導員が事業者に寄り添った伴走型の支援に取り組んでいるほか、地域の消費喚起に向けて、自治体と連携した「プレミアム付商品券」の発行や「キャッシュレス

還元キャンペーン」などを実施しております。

県連におきましても、引き続き、持続化補助金地方事務局を設置して、販路開拓や生産性の向上を目指す中小企業・小規模事業者の支援に努めるとともに、働き方改革やインボイス制度の導入などの国の各種制度改正に対して、事業者が円滑に対応できるように、専門家派遣事業に取り組んでおります。また、昨年10月28日・29日の2日間、サンメッセ香川において開催した「讃岐のイッピン！ええもんフェスタ2023」などを通じて、中小企業・小規模事業者の販路開拓の支援も積極的に行っているところであります。

今後とも私たち商工会は、地域の中小企業・小規模事業者にとって、なくてはならない経済団体として、事業者の持続的発展と地域経済の活性化に尽力してまいります。ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方にとって、今年一年が実り多き年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあたって



全国商工会連合会

会長 森 義久

新年明けましておめでとうございます。令和六年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は、約三年あまり続いた新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済の正常化が進み、観光業等を中心として、景気の緩やかな回復が進みました。

一方、続く円安進行、エネルギー・輸入物価の高騰、人手不足、過去最大の最低賃金の引き上げなど、地域の中小企業・小規模事業者にとって、売上は上がったも利益を出すことが厳しい情勢が続き、加えて新たに始まったインボイス制度への対応など、環境変化に追われる一年となりました。

こうした中、昨年十一月に開催した第六十三回商工会全国大会では、全国各地から約二、八〇〇名の商工会関係の皆様にご参集いただき、数多くのご来賓のもと、「我が国経済の根幹をなす中小企業・小規模事業者を支援する大型経済対策の実施」や「中小企業・小規模事業者を支援する商工会の体制強化」など、五項目について満場一致で決議しました。

この度の決議項目を実現し、目まぐるしく変化する時代に対応するべく、商工会組織を挙げて、きめ細やかな伴走型の支援に全力を注いでまいります。

新たな年も、始まったばかりの電子帳簿保存法への対応、デジタル社会や脱炭素化社会への転換、深刻な人手不足に対する省力化対策、円安によるインバウンド需要への対応並びに海外展開へのチャレンジ、事業承継の更なる加速化など、地域で頑張る中小企業・小規模事業者を取り巻く経済情勢には多くの課題が残されております。

引き続き、中小企業・小規模事業者の声を国等に届け、商工会として、皆様の実状に応じたきめ細かな支援を実行する体制を構築し、事業を推進していく所存であります。

人口減少・少子高齢化によって、地域の経済・生活の不安定さが高まる中で、社会課題を解決していくためには、地域の中小企業・小規模事業者の連帯による地方創生が不可欠となります。地域に根差した唯一の経済団体として、その役割を發揮するとともに「会員あつての商工会」であることを改めて認識したうえで、私も全国商工会連合会会長としての責務を果たすべく邁進いたしますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が、明るい一年となりますよう心よご祈念申し上げます。

新しい年を迎えて



香川県知事

池田 豊人

明けましておめでとうございます。

香川県商工会連合会並びに各商工会の皆様方には、日頃から、小規模事業者等に寄り添いながら、経営相談、創業支援、新商品開発、販路開拓、婚活支援事業、観光振興など、活力と創造性あふれる事業活動を積極的に展開され、香川県経済の発展と地域の活性化に多大のご貢献をいただいております。

頻発する大規模災害、急激な人口減少と少子高齢化、原油価格や物価の高騰、グローバル化やICTなどの技術革新の進展など、内外の情勢が急速に変化する中、香川県においては、時代の変化に対応し、香川県の持つ特長を活かして地域の発展を進めていくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、県では、人生100年時代のフロンティア県の実現を目指し、総合計画の見直しを行いました。

見直し後の総合計画では、基本方針として、安全・安心で住みたくなる香川をつくる「県民100万人計画」、活力に満ち挑戦できる香川をつくる「デジタル田園都市100計

画」、多くの人が行き交い訪れたい香川をつくる」にぎわい100計画」の3つを掲げています。今後

は、この基本方針のもと、少子化局面を打開するための子ども・子育てへの支援、企業誘致やスタートアップ支援等の産業振興など、本県の将来の発展のために必要な施策に積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

皆様方には、今後とも、魅力と活力に満ちた地域づくりにお力添えをいただきますようお願いいたします。

本年が明るく希望に満ちた年となりますよう念願いたしますとともに、香川県商工会連合会並びに各商工会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。



令和六年新年の御挨拶



香川県議会

議長 新田 耕造

新年明けましておめでとうございます。

香川県商工会連合会並びに各商工会の皆様方には、県内中小企業・小規模事業者の振興と発展、地域経済の活性化に多大な御尽力をいただいておりますことに、心より敬意と感謝の意を表します。

さて、我が国は、社会構造の変化や経済活動のグローバル化、技術革新の進展などの課題に加え、原材料やエネルギー価格の高騰、急激な為替変動、価格転嫁の遅れ、人手不足など、中小企業・小規模事業者にとって、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況に対応するため、県では、資金繰りや雇用維持などを

支援する様々な施策を実施しております。これらの活用により、中小企業・小規模事業者が、デジタル社会や脱炭素化社会への転換、販路拡大、海外展開、インバウンド需要への対応、事業承継の加速化などの課題に対応していくためには、伴走型支援により、それぞれの企業・事業者の

強みを熟知しておられる皆様方のサポートが必要不可欠であります。

県議会といたしましたは、中小企業や小規模事業者の皆様が、地域の暮らしを守り、地域を支え、地域の未来を創ると考えており、皆様の活動を今後とも全力で支援してまいります。

皆様方におかれましては、今後とも、お互いの協力・連携の下、小規模企業振興を担う地域総合経済団体として、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、香川県商工会連合会並びに各商工会の今後ますますの御発展と、皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

